

## 公開セミナー等の記録 (2008-2013年)

### 1 第11回水源地生態研究セミナー『新たにスタートする水源地生態研究』

- ・日時：2008年（平成20年）9月22日 14:00～17:00
- ・場所：N T T 夢天神ホール（福岡市）
- ・内容
  - ・講演「日本型ダム湖・ダム河川の陸水学を目指して」 谷田一三（大阪府立大学大学院理学系研究科）
  - ・講演「森にかぶる人造湖、ダムをどうとらえるか」 江崎保男（兵庫県立大学自然・環境科学研究所）
  - ・パネルディスカッション「新たにスタートする水源地生態研究」
    - コーディネーター：小野勇一（北九州市立いのちのたび博物館）
    - パネリスト：谷田一三（大阪府立大学大学院理学系研究科）
    - パネリスト：江崎保男（兵庫県立大学自然・環境科学研究所）
    - パネリスト：辻本哲郎（名古屋大学大学院工学研究科）
    - パネリスト：大森浩二（愛媛大学沿岸環境科学研究センター）
    - パネリスト：中村太士（北海道大学大学院農学研究院）
    - パネリスト：薛 孝夫（九州大学大学院農学研究院）

### 2 第12回水源地生態研究セミナー『ダム湖の生物群集と物質循環～健全な生態系管理を目指して～』

- ・日時：2009年（平成21年）9月28日 13:30～17:00
- ・場所：星陵会館（東京都千代田）
- ・内容
  - ・講演「ダム湖における生物群集の特色と生態系機能」 占部城太郎（東北大学大学院生命科学研究科）
  - ・講演「ダム湖における温室効果気体の生成・循環プロセス」 岩田智也（山梨大学大学院医学工学総合研究部）
  - ・講演「生態系のバランスから見た琵琶湖－水位変動と温暖化を中心に－」 西野麻知子（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）
  - ・パネルディスカッション「ダム湖の生物群集と物質循環～健全な生態系管理を目指して～」
    - コーディネーター：江崎保男（兵庫県立大学自然・環境科学研究所）
    - パネリスト：占部城太郎（東北大学大学院生命科学研究科）
    - パネリスト：岩田智也（山梨大学大学院医学工学総合研究部）
    - パネリスト：西野麻知子（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）
    - パネリスト：吉村千洋（東京工業大学大学院理工学研究科）

### 3 水源地生態研究会 公開シンポジウム『ダムが生み出す生態系はどこまで理解できたか？』

- ・日時：2013（平成25年）9月22日（日）13:00-16:30
- ・場所：大阪府立大学 I-site なんば（大阪市）
- ・内容
  - ・講演「我が国におけるダム湖ダム河川生態研究」谷田一三（大阪府立大学 名誉教授）
  - ・水源地生態研究会成果報告「ダム下流生態系の評価」辻本哲郎（名古屋大学大学院工学研究科）
  - ・水源地生態研究会成果報告「ダム湖水位変動帯に形成される生態系」江崎保男（兵庫県立大学 自然・環境科学研究所）
  - ・水源地生態研究会成果報告「ダム水源地の全国的なデータベースの整備とその活用」中村太士（北海道大学大学院農学研究院）
  - ・パネルディスカッション「ダムが生み出す生態系はどこまで理解できたか？」
    - コーディネーター：江崎保男（兵庫県立大学自然・環境科学研究所）
    - パネリスト：谷田一三（大阪府立大学 名誉教授）
    - パネリスト：辻本哲郎（名古屋大学大学院工学研究科）
    - パネリスト：中村太士（北海道大学大学院農学研究院）
    - パネリスト：小俣 篤（国土交通省近畿地方整備局 河川部長）

### 4 応用生態工学会 大阪大会 自由集会『ダム下流生態系』

- ・日時：2013年（平成25年）9月19日 9:30～11:30
- ・場所：大阪府立大学 I-site なんば（大阪市）
- ・企画者：辻本哲郎（名古屋大学）・一柳英隆（水源地環境センター）
- ・内容
  - ・全体説明 辻本哲郎（名古屋大学）
  - ・発表「流域の表層地質からみた山地河道の潜在的な生息場所特性」田代喬（名古屋大学）
  - ・発表「流域内の物質流下に及ぼすフィルタ特性に着目したダムの類型化」角哲也（京都大学防災研究所）
  - ・発表「ダムの供用が一次生産速度に及ぼす影響とその要因」萱場祐一（土研研究所）
  - ・発表「ダム影響軽減のための河床地形管理」竹門康弘（京都大学防災研究所）
  - ・コメント 藤田光一（国土政策総合研究所）
  - ・議論（進行：辻本哲郎（名古屋大学））

### 5 応用生態工学会 大阪大会 自由集会『ダム湖エコトーン（水位変動帯）の応用生態工学』

- ・日時：2013年（平成25年）9月19日 16:00～18:00
- ・場所：大阪府立大学 I-site なんば（大阪市）
- ・企画者：浅見和弘（応用地質株式会社）・一柳英隆（水源地環境センター）・谷田一三（大阪府立大学 名誉教授）・江崎保男（兵庫県立大学）
- ・内容

- ・イントロダクション「ダム湖エコトーン論、概説」谷田一三（大阪府立大学 名誉教授）
- ・話題提供「三春ダム湖岸のヤナギ林の形成とハビタットとしての機能」浅見和弘（応用地質株式会社）
- ・話題提供「三春ダム湖岸のヤナギ林と草本植生の特性」浅枝隆（埼玉大学）
- ・話題提供「ダム湖河川流入部における初期魚類相の形成」鬼倉徳雄（九州大学）
- ・話題提供「ダム湖水位変動帯の哺乳類の利用」荒井秋晴（九州歯科大）
- ・コメント 中村圭吾（国土技術政策総合研究所）
- ・議論（進行：一柳英隆（水源地環境センター）・浅見和弘（応用地質株式会社））
- ・総括 江崎保男（兵庫県立大学）

## 6 さくら湖自然環境フォーラム 2013 『「さくら湖」流域の自然環境の魅力を見つめ直す』

- ・日時：2013年（平成25年）10月8日 10:00～15:40
- ・場所：午前の部 自然観察ステーション・さくら湖の湖岸（福島県三春町）、午後の部 三春交流館「まほらホール・ホワイエ」（福島県三春町）
- ・内容

### ー午前の部ー

現地観察会「さくら湖の水位変動帯での観察」（現地案内人代表 谷田一三 大阪府立大学 名誉教授）

### ー午後の部ー

#### ① 展示体験

- ・湖底や水中の小さな生き物（担当：大高明史（弘前大学）・梅田信（東北大学）・一柳英隆（水源地環境センター））
- ・魚類調査方法と外来種の駆除（担当：中井克己（琵琶湖博物館）・大杉奉功（水源地環境センター）・沖津二郎（応用地質株式会社））
- ・湖畔の植物とそこに生きる昆虫（担当：谷田一三（大阪府立大学名誉教授）・浅見和弘（応用地質株式会社）・白井明夫（水源地環境センター））

#### ② フォーラム

##### 【第1部】

- ・さくら湖における地元でのとりくみの発表

##### 【第2部 さくら湖での研究成果】

- ・基調講演「岸辺に生える植物が織りなすさくら湖生態系」浅枝隆（埼玉大学）
- ・研究成果報告「研究から見えてきたさくら湖の特徴」
  - 進行：谷田一三（大阪府立大学名誉教授）
  - 報告：浅枝隆（埼玉大学）
  - 報告：大高明史（弘前大学）
  - 報告：中井克樹（琵琶湖博物館）
  - 報告：浅見和弘（応用地質株式会社）
  - 報告：梅田信（東北大学）